解　説

第 ６ 章　　　製造業

(注)事業所数及び従業者数は令和元年６月１日現在、製造品出荷額等は平成30年１～12月の１年間の数値です。

事業所数、従業者数、製造品出荷額等

事業所数は全国第１位、産業別では「金属製品」「生産用機械」が上位

2019年工業統計調査によると、事業所数は１万5,500事業所(全国に占める割合8.4％、第１位）、従業者数は44万7,404人(同5.8％、第２位)、製造品出荷額等は17兆5,615億円(同5.3％、第３位)となっています。

産業中分類別構成比は、事業所数及び従業者数については平成22年以降、製造品出荷額等については平成28年以降、上位３産業に変動がありません。

事業所数、従業者数、製造品出荷額等の産業中分類別構成比

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順　位 | １位 | ２位 | ３位 |
| 事　業　所　数 | 金属製品  21.8％ (3,379事業所) | 生産用機械  11.4％ (1,772事業所) | プラスチック製品  8.7％ (1,342事業所) |
| 従　業　者　数 | 金属製品  14.3％ (６万3,874人) | 食料品  11.0％ (４万9,124人) | 生産用機械  10.3％ (４万6,264人) |
| 製造品出荷額等 | 化学  10.7％ (１兆8,844億円) | 金属製品  9.2％ (１兆6,231億円) | 生産用機械  9.1％（1兆5,983億円） |

[第6章3表より]

地域別の事業所数は、大阪市地域(4,862事業所、構成比31.4%)が最も多く、次いで中河内地域(3,869事業所、同25.0％)、泉北地域(1,890事業所、同12.2％)となっています。

前年に比べ、大阪市地域(164事業所、3.3％)、北河内地域(45事業所、2.8％)、泉北地域(35事業所、1.8％)等、中河内地域以外の地域で減少しました。



地域別事業所数、前年比(従業者数４人以上)



[第6章1表より]

地域別の製造品出荷額等は、泉北地域(４兆8,331億円、構成比27.5％)が最も多く、次いで大阪市地域(３兆8,213億円、同21.8％)、中河内地域(２兆6,624億円、同15.2％)となっています。

前年に比べ、泉北地域(1,622億円、3.5％)、大阪市地域(1,396億円、3.8％)、中河内地域(1,022億円、4.0％)等、三島地域以外の地域で増加しました。



地域別製造品出荷額等、前年比(従業者数４人以上)

[第6章1表より]

工業生産活動(工業指数)

生産指数・出荷指数は２年ぶり、在庫指数は２年連続で上昇

　令和元年の大阪府工業指数は、生産指数は105.7で、前年に比べ2.7％上昇し、業種別(寄与度順。以下同じ)では「電気・情報通信機械工業」「金属製品工業」等が上昇しました。出荷指数は105.0で、前年に比べ0.3％上昇し、業種別では「電気・情報通信機械工業」、「金属製品工業」等が上昇しました。在庫指数は97.2で、前年に比べ5.1％上昇し、業種別では「汎用・業務用機械工業」、「鉄鋼・非鉄金属工業」等が上昇しました。

※大阪府工業指数は、製造業の毎月の生産活動の水準及び動向の推移を観察するため、基準年(平成27年)平均値を100として指数化したものです。



大阪府工業指数(原指数)

[第6章4、5、6表より]